



麻生多摩美の森だより

61

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえずり公園一

麻生多摩美の森の会広報紙第 61 号 2021 年 3 月 17 日発行

発行人：会長 田中 肇 編集者：伊勢谷 能宣

麻生多摩美の森の会

検索



森の活動を再開してⅡ 会長 田中 肇

コロナ禍の活動自粛も早いもので 10 ヶ月目。新型コロナウイルスの感染防止に努めながらも、暖かくなり森の恩恵を感じられる絶好のボランティア日和の時期です。我々森の活動に興味をお持ちの方は是非とも活動に加わって下されば幸いです。お待ちしております。

前号では「森づくり分科会」主宰 4 名をご紹介しましたが、その他にも森の保全活動を愛するメンバーがたくさんおります。今回ご紹介するのはベテラン会員の伊丹さん。長年アズマネササ周辺のオオブタクサや蔓の除去活動に尽力して頂いています。久しぶりに伊丹さんの案内で茂みに入りますと、是非見せたかったと除去せずに残しておいてくれたのは直径 3 センチ程もあるオオブタクサの枯れた茎でした。



春に芽を出し、大人の身長をも超える程に急成長するオオブタクサや蔓草との戦いに終わりはありません。すべてを覆い尽くす蔓植物からササを守るべく孤軍奮闘する伊丹さんはいつも雄々しく映り、頼もしい限りです。



各地で「ナラ枯れ」の被害が深刻化しています。当森の会の活動範囲にもカシノナガクイムシに侵された大木が数本確認できており、5 月の成虫飛散防止のためキッチン用品のラップを活用して、対策を講じました。成虫を捕獲する仕組みや未被害木への対策など課題は多く、公園緑地協会を始めとする知見をお持ちの皆さんの助言を取り入れながら、長期戦の覚悟で対策を練りたいと思います。

万福寺にんじん栽培3年目

～品評会で努力賞～

豊田 雅章

90cmにも生長し、百合丘、万福寺周辺で戦後、特産品として栽培されていた万福寺にんじん。香りが豊かで、甘みが濃いと評判だったが、90cmほどの長さにするには100cm以上、土を柔らかくし、傷をつけないよう収穫しなければならない。そのことも理由の一つだったのか、栽培は絶えてしまった。いったんは幻のにんじんとなってしまったが、2000年に有志の方々により復活し、品評会が開かれるまでになった。この麻生区伝統野菜の栽培に当会も参加することに。

2018年、1年目 深さ60～65cm、広さ2.0m×2.0mのにんじん畑(畝)づくり。20cmより深いところは固い粘土質の赤土なので、その土を掘り出し、まわりから柔らかそうな土をなんとか集める。

61.5cmはあるが華奢な何とも弱々しいにんじんを収穫。万福寺にんじん品評会に出品するが、選外。

2019年、2年目 深さ110cm、広さ0.9m×8mまでにんじん畑(畝)を大きくした。腐葉土づくりに手間取り、掘り出した粘土質の土の代わりに腐葉土入りの土を埋めたのが8月10日。その日に種まきという慌ただしさ。種まきが基準日より1か月遅れたこともあり最長でも52cm。1年目より短く、細身だった。

2020年、3年目 深さ110cm、広さ0.9m×12m。2019年12月からクヌギ、コナラの落ち葉や馬糞、米ぬか、生ゴミ堆肥を材料に、堆肥づくりに取り組む。深さ150cm、広さ1.8m×2.0mの穴を利用し、2～3週間ごとに落ち葉等の切り返しを行う。かなりの力仕事である。5月、なんとか堆肥になったので、

まわりの土と混ぜ、塹壕状態にまで掘ったにんじん畑に入れる。土が落ち着いた7月12日、7月19日に種まき。

コロナ禍ではあるが、「長いものができるといいですね」と地元の人に声をかけられ、それを励みに間引き、追肥、水やりなどを行い、5か月後、12月22日収穫。土はそれほどには柔らかくないので、掘り出すのに一苦勞。60cm以上のにんじんは20分要する。77cm、60cm、45cm。品評会には2本提出することになっている。77cmと表面がきれいな45cmを選ぶ。

翌23日、品評会。28団体からの出品。他の出品にんじんと比べ見劣りがする(写真の手前2本)。長さ、太さ、香り、色、つや、芯(苦みがある)が小さいもの等の観点により審査される。最優秀賞、香り賞、ルックス(姿)賞、ユニーク賞、特別賞が発表され、最後に努力賞が多摩美の森の会に。審査委員長から「提出された2本で審査しました。1本は77cmでいいですね。他の1本がもう少し長ければ別の賞になったでしょう。残念ですね。」とのコメント。この言葉を糧に、地域の伝統野菜の栽培はこれからも続ける。



《追記》万福寺にんじんを味わおうと、ごく簡単に処理(調理)してみた。一辺1cmほどのスティック状にし、ラップで巻いて、電子レンジで600W・60秒。市販品にはない自然な甘さで、森の会メンバーにも大好評でした！お子さんも喜ぶ味だと思います。

「脱プラスチックへの挑戦」 堅達京子著

井上 正樹



「あなたは毎週 5 グラムのプラスチックを食べている。」そんな衝撃的なキャッチコピーが書かれた本にたまたま書店で出会った。わかりやすく、問題提起に富んだ本書に感銘を受け、是非みなさまにご紹介したい。

レジ袋有料化がスタートして約 8 ヶ月。マイバックを携帯する人も増え、脱プラスチックが少しずつ浸透していると感じているが、世界の脱プラ事情は、私たちが考えるより深刻なようだ。現在の研究では、2050 年には海中のプラスチックごみが魚の量を超えると予測されており、細分化されたマイクロプラスチックは、現時点でも空気や水、人間の身体からも検出されている。食物連鎖によって有害物質はさらに濃縮され、健康被害が出る可能性も否定できない。そんな状況を受け、世界の 400 以上の企業が、「2025 年にはプラスチックごみを無くす」共同声明に署名、海や河川からプラごみを回収する試みが始まっている。脱プラはビジネスチャンスと捉えられ、各国の競争の中で、日本の技術力への注目度も高まっているようだが、本書で警告される「地球の限界」に達する事がないよう、専門家の言葉に耳を傾け必要があるようだ。

若干 18 歳の環境活動家グレタ・トゥーンベリさんが国連の場で、「私たちの世代から未来を奪わないで」と必死に叫んでいた。子供たちに誇れる明日が作れるよう、私たち大人が環境を考えていかななくてはいけない。

新会員自己紹介

佐藤 絵梨

名前の由来は稲城市で生まれたので、「稲城の梨で絵の好きな子に育つように」と両親がつけたと聞きました。幼稚園時代には名古屋に移住し、20 年前より菅北浦 4 丁目在住。愛犬と散歩中に井上さんより「可愛い犬だね」と声をかけられ、更に「森の活動に参加しませんか」と誘われたのが入会のきっかけです。

昨年コロナの関係で 2 回ぐらいしか来られませんでした。ペットロス（ペットとの別れに関する心理学）の勉強の為に来られない時があるかもしれませんが、雑草刈りや人参掘りや、年末に注連縄飾りを木に取り付けて祈願したなど初めての経験でした。

自宅で家庭保育福祉員を母がしており、私はその補助員をしています。また、今はペットロスカウンセラーになる為、更に 2 年間の勉強をすることにしました。気分転換に作業に参加できればと思います。

昨年コロナの関係で 2 回ぐらいしか来られませんでした。ペットロス（ペットとの別れに関する心理学）の勉強の為に来られない時があるかもしれませんが、雑草刈りや人参掘りや、年末に注連縄飾りを木に取り付けて祈願したなど初めての経験でした。



多摩美の森のシンボルツリー。満開の河津桜。

冬季の野鳥

中村 浩

落葉している冬季は野鳥観察には適している。冬鳥が飛来している時期は10月中旬から3月末までである。多摩美の森周辺で通年見られる野鳥は、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ウグイス、モズ、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、ガビチョウ、コジュケイ…、である。冬鳥としては、ジョウビタキ、アオジ、シメ、ルリビタキ、シロハラ、ツグミ、イカル等が観察された。

森や茂みの中で野鳥を見つける際の手がかりの第一は音である。鳴き声、木を叩く音、枯れ葉が擦れる音等が聴こえたら立ち止って音がする方向を根気よく観察すると見つかる。ギーと短く鳴くのは、コゲラ。ギーギーと長く鳴くのはオナガ。ピタ・ピタ…、尾羽を打つ音がしたらジョウビタキ。木をドラミングするのはキツツキの仲間のコゲラ、アカゲラ、アオゲラである。音が小さければコゲラ、大きな音であればアカゲラかアオゲラというように慣れてくれば音だけで何がいるか分かるようになる。

第二は動きである。視野の中で動く物は容易に感知できる。難しいのはじっと止まっている鳥を見つける事である。しかし、じっとしている鳥は動かないのでじっくりと観察できる。いずれの場合でもこちらの気配を感じると逃げていくので慎重に行動する必要がある。

綺麗な鳥は、ジョウビタキでスズメより少し大きく全長15cmほど、開けた環境を好み1羽でいる。オスの頭部から背にかけて白っぽく、翼は黒っぽく白の斑点、腹はオレンジ色である。

まずは、近所で探して見よう。



2月に多摩美の森に設置した鳥の巣箱。
さっそくシジュウカラが棲みついたようだ。

【今後の活動予定】

- 3/6(土) 幹事会、畑の手入れ、野原の草刈
- 3/7(日) 7区交流会
～川崎市公園緑地協会会議室～
- 3/21(日) 草刈、草取り、樹木の手入、清掃
2021 里山フォーラム in 麻生
(第20回)～麻生市民館～
- 4/3(土) 幹事会、畑の手入れ、野原の草刈
- 4/18(日) 草刈、草取り、樹木の手入、清掃
- 4月下旬 通常総会開催(予定)
- 5/1(土) 幹事会、畑の手入れ、野原の草刈
- 5/9(日) 7区交流会
@かわさき市民活動センター
- 5/16(日) 草刈、草取り、樹木の手入、清掃

毎月<第一土曜>と<第三日曜>10～12時、
多摩美の森で活動を行っています。
(10月～5月は10時～12時)
見学、飛び入り参加大歓迎！
里山の楽しさを親子で味わってください！

お問合せ：田中 肇 070-4468-7195
hajimeta@nth.biglobe.ne.jp
<http://web-asao.jp/hp2/tamami/>

会員募集中(年会費1,000円)